

酒田港国際ターミナルに新しいクレーンが据付けられました

4月10日(水)、酒田港国際ターミナルに既存クレーンの更新として、新しいクレーンが据付けられました。これはガントリークレーンと呼ばれるコンテナ貨物の積み卸しをするクレーンで、山形県の事業として行われております。

現在、酒田港ではコンテナ貨物の取扱量が増加傾向にあり、コンテナ船の大型化や2隻同時着岸に対応できるよう、岸壁の延伸など、港湾機能の強化を図っております。今回の新しいクレーンにつきましても機能強化の一環で、既存のクレーンよりも大型のコンテナ船の積み卸しに対応しています。

当事務所でも県と協力しながら、岸壁延伸整備をしっかりと行い、酒田港の発展に寄与してまいります。



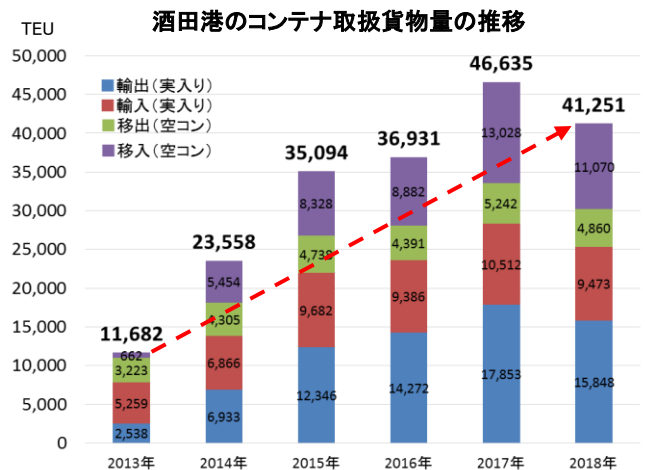
3/24に三重県津市を出航し、4/8に酒田港に入港



タグボート3隻が連携しながら、ガントリークレーン専用運搬船を移動



4/10、ガントリークレーン専用運搬船から岸壁へ据付



出典：平成30年酒田港統計年報

